

令和7年度第79回中国高等学校ボクシング選手権大会実施要項

主催 中国高等学校体育連盟
鳥取県高等学校体育連盟
中国ボクシング連盟
後援 鳥取県教育委員会
主管 中国高等学校体育連盟ボクシング専門部
鳥取県高等学校体育連盟ボクシング専門部
鳥取県ボクシング連盟

1. 期間 令和7年6月13日（金）～15日（日）
2. 会場 鳥取県立境港総合技術高等学校 ボクシングジム
境港市竹内町925 TEL：0859-45-0411 FAX：0859-45-0413
3. 階級 ピン級からミドル級までの8階級（女子は9階級）
*但し女子の全国高校総体公開競技への出場はLF級・B級・L級の3階級のみ
4. 競技規則 (公財) 日本ボクシング連盟（以下日連）競技規則による。
5. 競技方法 (1) 個人戦とするが、学校対抗を兼ねる。（男子Aゾーンのみ）
(2) トーナメント方式で行い、優勝、準優勝、3位（2名）を決定する。2分3R制。
(3) Aゾーン、Bゾーン、女子の部に分けて競技する。但しAゾーンは原則各県1位の者、Bゾーンは各県推薦の者とする。
6. 競技日程
- | | | | |
|----------|-------|---|--------|
| 6月12日（木） | 18：00 | スポーツエントリーチェック
監督会議・運営会議 組合せ抽選
(インテグリティ研修資料配付) | <宿泊会場> |
| 6月13日（金） | 7：30 | 運営会議（選手確認） | <宿泊会場> |
| | 7：45 | 検温・血圧・計量（当日出場選手） | <宿泊会場> |
| | 14：00 | 総合健診（当日出場選手） | <競技会場> |
| | 15：00 | 開会式 | |
| | 15：30 | 競技開始（男子Aゾーン・Bゾーンの順） | |
| 6月14日（土） | 7：30 | 運営会議（選手確認） | <宿泊会場> |
| | 7：45 | 検温・血圧・計量（当日出場選手） | <宿泊会場> |
| | 10：00 | 総合健診（当日出場選手） | <競技会場> |
| | 11：30 | 競技開始（女子、男子Aゾーン・Bゾーンの順） | |
| 6月15日（日） | 7：30 | 運営会議（選手確認） | <宿泊会場> |
| | 7：45 | 検温・血圧・計量（当日出場選手） | <宿泊会場> |
| | 10：00 | 総合健診（当日出場選手） | <競技会場> |
| | 11：00 | 競技開始（女子、男子Aゾーン・Bゾーンの順） | |
| | | 競技終了後 閉会式 選考会議 | |

- ・女子については各階級のエントリー数が4名以下の場合は14日を初日とする。（健診計量を含む）
- ・Bゾーンについては各階級のエントリー数が4名以下の場合は14日を決勝とする
- ・閉会式後、全国高校総体への選考会議を、各県高体連専門部委員長、中国ボクシング連盟会長、理事長、審判長、強化委員長にて行う（欠席で委任するときは委任状を提出する）。

7. 得点規定

- (1) 抽選の不戦勝を除いて、1勝毎に勝ち点1点を加点する。
- (2) 優勝には5点、準優勝には3点、3位には1点を加点する。
- (3) 学校別順位については以下の通りとする。
 - ア. 男子Aゾーンのみ得点とする。
 - イ. 個人の得点の合計で決定する。
 - ウ. 同点の場合は、優勝者の数による。
 - エ. イ・ウが同点の場合は2位の数による
 - オ. エで決定しない場合は、3位の数による
 - カ. オで決定しない場合は、同順位とする。

8. 参加資格

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は各県高等学校体育連盟に加入しているとともに、当該競技専門部に登録した学校の生徒で、当該競技実施要項により、大会参加資格を得たものに限る。
- (3) 年齢は平成18年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技の参加を認める。出場とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア 部員不足に伴う合同チーム(県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)詳細は、本連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」(令和5年5月19日)と全国高等学校体育連盟専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。

※ ボクシング競技は部員不足に伴う複数校合同チームの対象外とする。

- イ 統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前の2年間に限る)
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等やむをえない場合は、都道府県高等学校体育連盟の許可があればこの限りではない。
 - (7) 出場選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
 - (8) 実戦競技出場は選手手帳の「実戦競技参加証明(初回用)」に日本ボクシング連盟役員登録をしている出場選手指導者の署名及び捺印、未成年選手においては親権者による署名、捺印がされていなければならない。
 - (9) 申し込みまでに令和7年度日本ボクシング連盟へ登録済みの選手であること。
 - (10) 技術・体力ともにこの大会の目的にふさわしい選手であること。
 - (11) 参加資格の特例

ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、【大会参加資格の別途に定める規程】に従い大会参加を認める。

イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第 72 条、115 条、124 条及び 134 条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会の参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア. (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校生徒による混成は認めない。
 - ウ. 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ. 各学校にあっては、部活動が教育の一環として日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア. 全国高等学校総合体育大会開催基準要項及び中国高等学校選手権大会開催基準要項を 遵守し、競技種目大会申合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育 法施行規則第 78 条の 2 に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を 委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
 - ウ. 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、各県に規定があり、この基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
 - エ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9. 参加制限

- (1) 各県男子の部 Aゾーン・Bゾーン、女子の部、各階級 1 名とする。
- (2) 各県高等学校体育連盟及び各県ボクシング連盟で代表として認可されたもの。
- (3) 「監督」「コーチ」「セカンド」は、令和 7 年度日連登録済みの者に限る。チーフセカンドは B 級以上の公認セカンド資格、サブセカンドは C 級以上の公認セカンド資格、アシスタントセカンドは令和 7 年度日本ボクシング連盟へ登録済みの者に限る。

10. 申込方法

- (1) 申込書類等 下記ア～ウについては下記宛先まで原本を郵送、データをメール送信し、エについては宿泊申込要項にある連絡先へ直接メールで連絡する。オ・カについては監督会議に持参すること。
 - ア 参加申込書その 1 様式 1
 - イ 参加申込書その 2 様式 2
 - ウ セカンド届け 様式 3
 - エ 宿泊申込書 様式 4
 - オ 大会負担金 出場各校 1 万 6 千円
Bゾーンのみ出場各校 3 千円
 - カ 大会分担金 各県 2 万円
- (2) 申込期限 令和 7 年 6 月 6 日 (金) 必着

申込先 〒684-0043 境港市竹内町925 鳥取県立境港総合技術高等学校 浅田 龍二 宛

Tel : 0859-45-0411 E-mail : asada_ru@g.torikyo.ed.jp

11. 表彰

- (1) 個人表彰：各階級 1 位・2 位・3 位（2 名）の選手とする。（男子 B ゾーンは 1 位のみ）
- (2) 学校表彰：優勝、準優勝、3 位の各学校を表彰する。
- (3) 前年度優勝校にはレプリカが授与される。

12. 連絡事項

各県は大会分担金 2 万円を監督会議に持参すること。

- (1) 参加各校は大会負担金を監督会議時に納入のこと。
- (2) ヘッドガードは、競技者の頭部にしっかりと合った状態の良い日連の検定品（adidas 製、TAISHAN 製、Winning 製いずれも可）を使用すること。ヘッドガード、カッププロテクターは出場選手が持参すること。
- (3) インテグリティ研修については、資料の配付のみ行う。各県監督は各県のチーフセカンド全員に資料配付する。各県チーフセカンドは資料を熟読すること。

13. 留意事項

- (1) 健診・計量の受付時間内に不在の者は失格とする。ただし、公共交通機関等の遅延による場合はこの限りではない。
- (2) 検温は 1 回とする。再検は総合健診時に医師の診断に委ねる。
- (3) 血圧の再検は総合健診時に医師の診断に委ねる。
- (4) バンデージは、大会本部より支給されたものを使用する。B ゾーンについては各自で日連認定のものを準備する。
- (5) 選手は健康保険証を持参する。
- (6) 選手はユニフォームの背中部分に県名を明示する。服装・頭髪等は日連規定に準ずる。
- (7) エントリー後の選手変更は認めない。
- (8) 受付時に本人の写真を貼付した選手手帳を提示できないものは失格とする。途中で記録欄がなくなった場合も同様とする。（残りページが 1 ページ以上あること）
- (9) 選手手帳を更新した場合、前の選手手帳を持参すること。持参しない場合も失格とする。選手手帳の登録番号欄には各県連盟印が押印してあること。
- (10) 選手手帳の健康診断記録に必要事項（CT 証明書を含む）が記入されていること。
- (11) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側が行なうが、その後の責任は負わない。
- (12) 万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておくことが望ましい。
- (13) 競技結果・氏名・写真・映像等を公の場に掲示する場合がある。
- (14) その他、競技上必要なことにおいては、監督会議時において確認することとする。

14. 宿泊及び弁当

- (1) 宿舎：「おーゆ・ホテル」

〒683-0805 鳥取県米子市皆生温泉 1 丁目 1 8 番 1 号 (TEL) 0859-31-3333 (FAX) 0859-31-1777

- (2) 申込方法・宿泊料金・取消料等：別紙の宿泊要項参照
- (3) 申込締切：6 月 2 日(月)必着
- (4) 選手・監督等には、6 月 1 2 日(木) 1 3 日(金) 1 4 日(土)のみ宿舎を斡旋する。